



令和6年5月

スクールカウンセラー 中野隆治



「夢へのステップ」



僕は持ちたい

家の中に

理解のある妻と

本のあいだを歩き回る猫と

それなしではどの季節にも

生きていけない友だちと

(ギョーム・アポリネール『猫』)

誰も幸福な未来を思い描くことはあると思います。

ほんぽう
奔放な詩や行動が、パリの人々をスキャンダルの渦に巻き込み、パリ中をのし歩いた若い詩人にも、実は、こんなつましい願望があったのです。理解のある妻と、無造作に気兼ねなく部屋を歩き回る猫、気の置けない仲間達との語らい……そこには、ピカソやシャガールの姿もあったはずです。

みなさんの脳裏のうりに浮かぶ将来の理想の光景とは、どんなものでしょうか。心置きなく話せる人々の中で、思いやりや優しさに包まれている時でしょうか。あるいは、バックパックを背にして、見知らぬ国の聞いたこともない言語との出会いに、心ときめかせている姿でしょうか。

ただ一つ、確かなことがあります。そんな未来を思い描くための一歩が、今から始まるということです。いや、始まっていると言ってもいいかもしれません。心理学で言う、スモール・ステップの原理に従うならば、遠い未来の目標達成のためには、その目標をだんだんと現在に近づけて行って、今、何をしなければならないかの行動目標を作ることが必要になってくるわけです。今、何をしなければならないか……この小さな一つ一つのステップを乗り越えていくことが、生の営みかもしれません。

自分の可能性や夢を達成するために、とりあえず、取り組まねばならないことは何か、おそらく日々の学習も、課題達成のためのクリアしなければならない条件の一つだと考えられます。高校を卒業して次のステップへ……夢に向かっての階段を、一步一步上っていく先には、これまで夢だと思っていたものが、現実のものとして捉とらえることができる場面が待っているのではないのでしょうか。

夢と現実……この二つの間に、みなさんの人生があると言っていいと思います。夢に向かって生きてください。そして、小さなステップを歩んで行ってほしいと思います。